



# 承認図

---

## 通話録音サーバソフト VR-800VLA

本仕様はアプリケーション Ver.3.1.0.4 以降に準じています。



# 仕様書

---

## 通話録音サーバソフト VR-800VLA

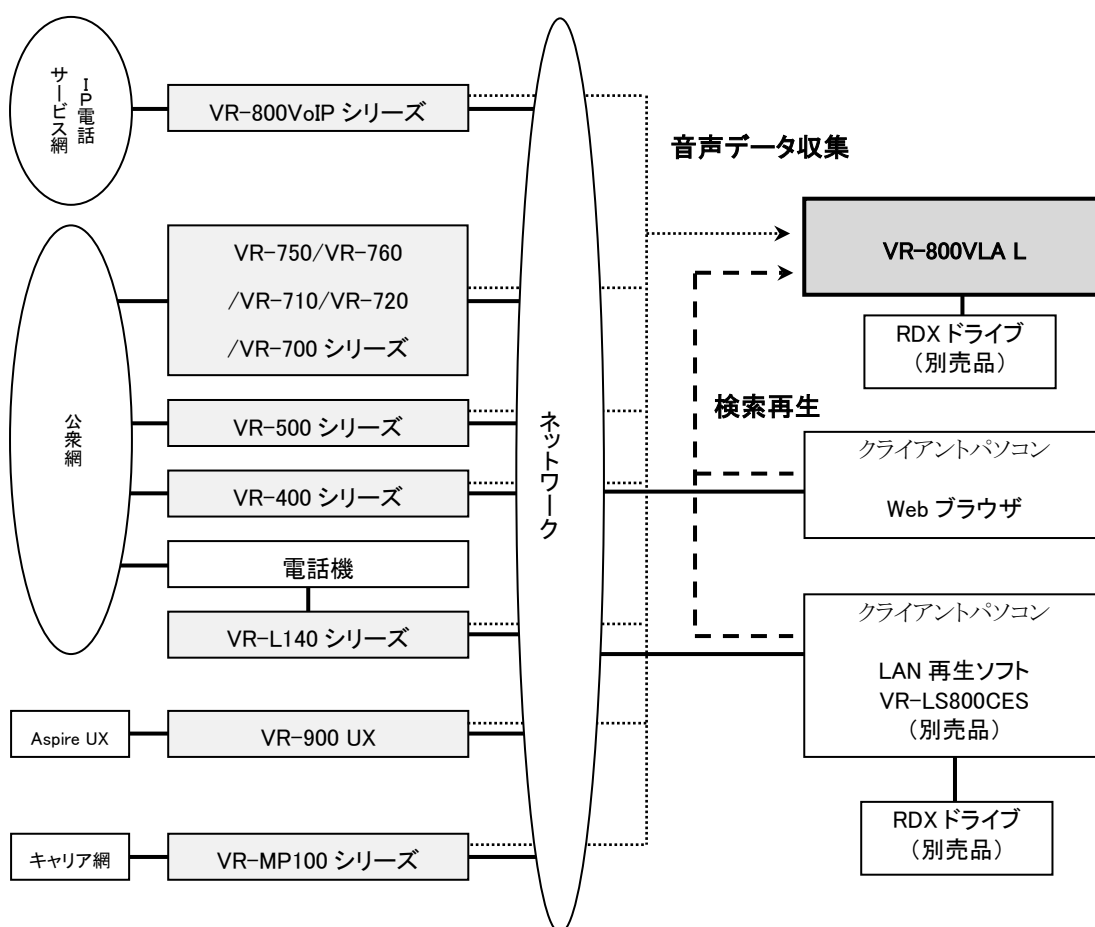
本仕様はアプリケーション Ver.3.1.0.4 以降に準じています。

## 商品概要

本システム(以下、VR-800VLAまたは本装置と記します)は、「通話録音サーバソフト VR-800VLA」をインストールしたパソコンに複数の通話録音装置VR-800VoIP/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-700/VR-500/VR-400/VR-L140/VR-MP100シリーズおよびVR-900 UXの音声データをネットワーク経由で収集し、集中管理することができます。

本装置に収集された音声データは、Webブラウザまたは「LAN再生ソフト VR-LS800CES」により同一ネットワーク上に接続されたクライアントパソコンから、録音内容を各種条件で検索して再生することができます。また、通話録音装置VR-L140シリーズを対象として、ユーザー管理する「ログイン認証設定ソフト」があります。

代表的な接続方法は、次の図のとおりです。



## 主な機能

### 収集対象の通話録音装置

本装置が音声データを収集する通話録音装置は次の各装置です。

VR-800VoIP/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-700/VR-400/VR-500/VR-L140/VR-MP100 シリーズ  
および VR-900 UX

通話録音装置は最大で 100 台登録ができます。但し、通話録音装置 VR-900 UX および VR-800VoIP/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-700/VR-400/VR-500/VR-MP100 シリーズの音声データ収集は合計 10 台までとなります。

### 音声データの収集

音声データを収集する曜日、及び時刻を指定して収集することができます。指定した時刻以外はデータ収集を行いませんので、日常業務に影響がない時刻を指定して、音声データの収集を行うことができます。収集時刻は最大 7 つ登録できます。また、録音内容とは別にインデックスのみを収集する時間帯を指定することができます。

### インデックスデータ(録音時間などの録音情報)の保存件数

ハードディスクには約 3,000 万件の録音情報の保存ができます。

### バックアップ

収集された音声データは、RDX カートリッジにバックアップ保存することができます。

※RDX ドライブ・RDX カートリッジが別途必要です。

バックアップ方法は以下のとおりです。

#### <自動バックアップ>

定時 : 毎日設定した時刻にバックアップをします。

間隔 : 一定時間間隔でバックアップをします。

#### <手動バックアップ>

手動操作でバックアップをします。

### アラーム機能

#### <アラームメール通知>

本装置が次の状態になったときに、指定したアドレスにメール通知することができます。メール通報先は最大 5 か所まで登録できます。

- ・監視対象の通話録音装置のバックアップメディアが満杯状態になったとき
- ・本装置との接続やシステムが異常状態になったとき
- ・本装置の RDX バックアップメディア満杯状態やシステム異常になったとき

#### <状態報告メール通知>

上記アラーム状態の情報を毎日定時に状態報告として指定したアドレスにメール通知することができます。メール通報先は〈アラームメール通知〉と同様の通報先です。(最大 5 か所)

#### 〈システム監視ソフト VR-AL800CL〉

本装置や通話録音装置のアラーム発生時には、システム監視ソフトをインストールしたクライアントパソコンにて、本装置からのアラームを受信することができます。通知クライアント数は 10 台まで登録できます。また、このクライアントパソコンから本装置との接続が確認できない場合の『アラーム通知』および本装置と同様の『状態報告』を、指定したアドレスにメール通知できます。通知先は 5 か所まで登録できます。

## セキュリティ

本機の登録設定操作、または本機に接続しての検索再生操作に制限を設けることができます。ID・パスワードを知らない人は本機の登録設定、検索再生操作をすることができません。

本装置で収集対象とする通話録音装置に登録されている情報(契約者回線番号・自番号・表示名など)をグループ化して操作権限を付与することもできます。

ユーザーは最大 500 人、電話番号情報は最大 6000 件、電話番号グループは最大 300 まで登録できます。

## パスワードポリシー

上記セキュリティ機能にパスワードポリシー設定をすることができます。

- ・パスワード変更許可 :ユーザーによるパスワードの変更の許可。(初期値「許可しない」)
- ・パスワードの長さ :パスワード設定時に必要な最低文字数(1~14 文字)を設定。(初期値 1 文字)
- ・パスワード要件 :パスワード使用文字を英大文字、英小文字、数字、記号の中から 3 種以上に設定。  
(初期値「設定しない」)

## 音声データの自動削除

録音内容を、一定期間経過後、自動的に削除することができます。期間は録音後1日から 4000 日が選択できます。

## 時刻修正

NTP サーバによる時刻修正ができます。

## 検索・再生

音声データは、同一ネットワーク上に接続されたクライアントパソコンで検索・再生することができます。検索・再生の手段として、①Web ブラウザと②LAN 再生ソフト VR-LS800CES があります。

(※利用できる検索キーは、収集対象の通話録音装置の仕様や接続条件により制限があります。)

### (1)Web ブラウザ VR-800VLA web voice player

Web ブラウザから本装置にアクセスして「シンプル入力」「詳細入力」の 2 通りで検索・再生することができます。

・「シンプル入力」検索項目

- ①電話番号グループ ②通話録音装置 ③発信/着信 ④日時 ⑤電話番号 ⑥相手番号 ⑦表示名等

・「詳細入力」検索項目

- ①電話番号グループ ②通話録音装置 ③発信/着信 ④日時 ⑤電話番号 ⑥相手番号 ⑦オペレータ ID

⑧内線番号 ⑨表示名 ⑩通話時間 ⑪再生フラグ ⑫分類 ⑬メモ ⑭内線名 ⑮オペレータ名 ⑯グループ ID ⑰その他

## (2) LAN 再生ソフト VR-LS800CES

LAN 再生ソフト VR-LS800CES をインストールしたクライアントパソコンから本装置にアクセスして検索・再生することができます。検索項目は、Web ブラウザの「詳細入力」と同様です。またバックアップメディアの再生も行うことができます。音声データは、同一ネットワーク上に接続されたクライアントパソコンにインストールした「LAN 再生ソフト VR-LS800CES」で次の項目をキーにして、検索・再生することができます。複数のキーを組み合わせることも可能です。

①通話録音装置/電話番号グループ ②日時 ③発着信 ④表示名 ⑤担当者 ⑥自番号 ⑦自サブアドレス  
⑧相手番号 ⑨DTMF 信号 ⑩通話時間 ⑪再生フラグ ⑫メモ ⑬分類 ⑭オペレータ ID ⑮オペレータ名・内線名 ⑯内線番号 ⑰オペレータグループ ID

※音声データの検索・再生には、VR-800VLA に保存されているインデックスを参照します。VR-800VLA にインデックスが保存されていないと検索・再生できません。

※VR-800VLA とクライアントパソコンはネットワーク接続されている必要があります。

### 【バックアップメディアの検索・再生 (LAN 再生ソフト VR-LS800CES)】

音声データの再生を行ったときに、対象の音声データがサーバのハードディスクに無い場合は、RDX カートリッジを使用して、音声データを再生することができます。

※RDX カートリッジの再生を行う場合は、クライアントパソコンに RDX ドライブ (別売品) が必要です。

VR-LS800CES の指示に従って RDX ドライブにセットしてください。

※RDX カートリッジにバックアップされた音声データを直接検索・再生することはできません。

## ログイン認証サーバ機能 (VR-L140 ログイン認証設定ソフト)

通話録音装置 VR-L140 シリーズを対象としたオペレータを管理するための機能で、次の特徴があります。

- ・オペレータがパソコンから本装置へログイン操作することにより、ログイン操作したパソコンと対となる通話録音装置 VR-L140 シリーズで録音した音声データに、ログイン操作したオペレータ情報を記録することができます。
- ・本装置で通話録音装置 VR-L140 シリーズの音声データを収集後、オペレータ ID やオペレータ名をキーとして検索・再生ができます。
- ・管理者権限にて本装置にログインすることにより、複数オペレータのログイン状況を把握することができます。
- ・オペレータはグループに分けて管理することができ、グループの管理者以外による通話モニターなどの操作を制限することができます。グループ数は最大 100 まで登録できます。

## 主な仕様

### VR-800VLA

#### ネットワーク接続方式

通信プロトコル……………TCP/IP、HTTP、FTP、UDP

インターフェース……………100BASE-TX 以上

通話録音接続台数……………最大 100 台

収集対象通話録音装置……………VR-700/VR-700P……………Ver.1.4.0.9 以降

VR-464/VR-408……………Ver.3.3.3.0 以降

VR-448PRI……………Ver.1.1.5.0 以降

VR-432BRI……………Ver.1.1.3.0 以降

VR-508A……………Ver.1.04 以降

VR-508H……………Ver.1.00 以降

VR-504BRI……………Ver.1.00 以降

VR-800VoIP/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-L140/VR-MP100 シリーズ、VR-900UX については初期バージョンから

電話番号登録数……………最大 6,000 件

電話番号グループ登録数……………最大 300 グループ

音声データ保存時間……………ハードディスク容量による

<HDD サイズ/録音時間(目安)>

500GB/48,000 時間、1TB/99,000 時間、1.5TB/150,000 時間

※保存時間は、録音方式が「モノラル圧縮」の場合で、1 通話あたり 1 分としたときの目安です。

セキュリティユーザー登録数……………最大 500 人

クライアント同時ログイン……………最大 500 台(同一クライアントユーザーの重複ログイン可)

#### アラーム通報

メール通報先……………5 ヶ所

クライアント通報先……………10 ヶ所

#### インデックスデータ

保存件数……………約 3,000 万件

※データベースサイズの上制限(10GB)による

※インデックスデータとは、1通話毎に保存される録音時の録音開始、終了日時、電話番号等の情報で、1通話 1 件として扱います。

バックアップ媒体……………RDX カートリッジ

Webブラウザ

- 対応ブラウザ ..... Internet Explorer 11(※1)(※2)(※3)(※4)(※5)
- 検索・再生 同時ログイン数 ..... 20 ユーザーまで
- 検索方法 ..... 日時指定、発着情報指定など
- 再生方法 ..... リピート再生、送受話分離再生など  
 ※送受話分離再生はステレオ録音された音声データが対象
- 再生装置 ..... クライアントパソコンのスピーカ

- ※1 使用するアドオン:Windows Media Player 12 以降。
- ※2 「互換表示」機能を使用します。
- ※3 Windows 8.1 における Internet Explorer 11 については、デスクトップアプリ版のみ対応しています。
- ※4 Windows RT / Windows RT 8.1 は対象外。
- ※5 対応する OS と Internet Explorer の組み合わせ。

オペレーティングシステム	利用可能な Internet Explorer
Windows 10 日本語版	Internet Explorer 11
Windows 7 SP1 日本語版	
Windows 8.1 日本語版	

VR-LS800CES(クライアントパソコンの仕様)

- OS ..... Windows 10 Home/Pro/Enterprise 日本語版  
 Windows 8.1 (無印)/Pro/Enterprise 日本語版  
 Windows 7 Ultimate/Professional/Home Premium SP1 日本語版
- CPU ..... OS が推奨する環境以上
- メモリ ..... OS が推奨する環境以上
- ハードディスクドライブ ..... 2GB 以上の空き容量
- ドライブ ..... CD-ROM または DVD-ROM ドライブ(インストール時に必要)、  
 RDX ドライブ(バックアップメディアの再生時に必要)
- ディスプレイ ..... 解像度 1024 × 768 ドット以上、画面の色 High Color(16bit)以上
- 入力デバイス ..... キーボードおよびマウス、またはこれらと互換の入力デバイス
- ネットワーク ..... 100BASE-TX 以上のネットワークアダプタ(TCP/IP で LAN、WAN 接続ができること)
- サウンド ..... 音声の再生機能があること



ログイン認証サーバ機能 (VR-L140 ログイン認証設定ソフト)

- ユーザー登録数.....オペレータ(通話者)、管理者 合計で最大 999 人
- マスター.....1 人
- オペレータグループ数.....最大 100 グループ
- 通話録音装置登録数.....最大 100 台

## 「VR-800VLA」インストールパソコン システム要件

項目	内容
OS	Microsoft Windows 10 Pro 日本語版 (64bit) Microsoft Windows 8.1 Pro 日本語版 (64bit) Microsoft Windows 7 Professional SP1 日本語版 (64bit) ※32bit 版の OS には対応していません。
CPU	インテル Core2 Duo プロセッサ 2.0GHz相当以上
メモリ	使用可能メモリ 4GB 以上
ハードディスク	500GB 以上(システム領域として約 50GB)の空き領域が必要です。 空き領域に音声データを保存します。保存する期間により必要な容量を用意してください。 <HDD サイズ/録音時間(目安)> 500GB/48,000 時間、1TB/99,000 時間、1.5TB/150,000 時間 ※保存時間は、録音方式が「モノラル-圧縮」の場合で、1 通話あたり 1 分としたとき
光学ドライブ	DVD-ROM ドライブ (インストール時に必要)
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 以上の表示が可能なディスプレイ
入力デバイス	キーボードおよびマウス。またはこれらと互換のポインティングデバイス
ネットワーク	100BASE-TX 以上のネットワークアダプタ
※バックアップ	音声データのバックアップは RDX のみ対応しています。このときは RDX ドライブ・RDX カートリッジが別途必要です。

<お願い>

- ・本ソフトをインストールするパソコンは、通話録音サーバ専用のパソコンとしてご使用ください。
- ・本システムの動作に不具合が発生することを避けるため、他のアプリケーションをインストールして運用することは避けてください。

※商品名は、各社の商標または登録商標です。

## 添付品

---

通話録音サーバソフト VR-800VLA(CD) … 1 枚  
VR-800VLA 取扱説明書(保証書) …… 1 式  
VR-L140 ログイン認証設定ソフト(CD) …… 1 枚  
LAN 再生ソフト VR-LS800CES(CD) …… 1 枚  
VR-LS800CES 取扱説明書(保証書) …… 1 式  
ユーザー登録カード(LAN 再生ソフト) …… 1 枚